

広告



メイン会場で行われる雪上カーニバル。今年のテーマは「雪峰顕現(れいほうけんげん)」(左)で、富士山を撮影し続けた十日町市出身の写真家・岡田紅陽にちなんだもの



一青窈、秋川雅史などによるスペシャルライブも行われる。連続テレビ小説「あまちゃん」の劇中歌「星の上ではディセンバー」を歌ったベビーレイズも出演



恒例「十日町きもの女王コンテスト2014」も開催



あちこちの街角では、工夫を凝らした「おもてなし」が



きもの町らしく布海苔をつなぎに使った名物「へぎそば」



十日町市博物館では期間中、国宝指定番号1「縄文雪炎」が展示される(撮影:小川忠博)



現代アートが、伝統美が、雪国の冬を熱くする



「十日町雪まつり」キャラクター「ネージュ」



白い愛の祭典 第65回「十日町雪まつり」2014年2月14日(金)・15日(土)・16日(日)

日本有数の豪雪地帯、新潟県十日町市の冬は活動的で、熱気さえ感じられます。現代雪まつりの発祥「十日町雪まつり」をはじめとする伝統行事に、初開催の「越後妻有 雪花火」なども加わって、雪国ならではの「春を呼ぶ祭典」がめぐる押しです。3月までには、他にも「越後まつりだいの陣」「かわにし雪まつり」「雪原カーニバル なかさと」などが相次いで開催されます。十日町市ではこれらの祭典・イベントを一体的に捉え「ホワイトミュージアム in 十日町2014」と総称し、町そのものを「純白の美術館」として演出します。

エリアまるごと、おまつり気分

十日町駅へは東京駅から上越新幹線・越後湯沢駅経由、北越急行はくほく線で1時間50分ほどで、日帰りも十分可能です。2月15日には大宮発着の臨時の特急列車も運転されます。

「十日町雪まつり」は2月14日から3日間開催されます。28の街角に「おもてなしひろば」がつけられ、ひろばごとに独自の「雪の芸術作品」が制作されます。ひろばではぬくもりのある「おもてなし」が旅人を出迎え、ひろばを巡る「十日町雪まつり」巡りバスも運行されます。

雪まつりを堪能するには「十日町雪まつりバスガイド」(3000円)が便利で、お得です。雪像見学ツアーの割引、会場の優待ゾーン入場、巡回バス乗り放題、ひろばや商店街でのおもてなし優待サービス、粗品進呈など特典が盛りだくさんです。「14日の雪像見学ツアー」は、夕食付4500円が2000円に、15日の入賞作品ツアー2500円は実質無料になります。(渡辺正範「十日町市観光交流課長」と、ツアー参加者には特におすすです(ツアー2日前までに要予約)。

メイン会場の雪上カーニバル会場ではギネスブックに登録されたことのある雪像ステーションを背景に、きものショー、小学生のパフォーマンスなどが演じられます。音楽ライブでは「ハナミズキ」の大ヒットで知られる「一青窈」や「千の風になって」の秋川雅史ら豪華キャストが出演し、フィナーレは恒例の雪上花火が夜空を彩ります。十日町きもの女王コンテスト2014も根強い人気があります。国指定の伝統的工芸品「十日町明石ちぢみ」「十日町紬」で培った「きもの文化」普及のためのコンテストです。

日本3大薬湯の一つ、ゆったり、まったり

十日町は温泉も豊富です。日本3大薬湯の一つ、松之山温泉は海水がマグマで温められ、地層の断層から熱水が湧き出す源泉が100度近い「ジオフレッシャー型温泉」という珍しい塩化物温泉です。越後妻有交流館「ギナレ」の日帰り温泉「明石の湯」も塩化物泉で、まつりの後の疲労回復にぴったりといえます。

国宝の縄文芸術が、お出迎え

パスポートにはまた特典があります。恒山遺跡の出土品928点で構成される国宝「新潟県恒山遺跡出土土器群」を所蔵する「十日町市博物館」に無料入館できます。縄文土器として国内初の国宝に指定された「火焔型土器」のうち、特に原形に近い形で出土した国宝指定番号1「縄文雪炎」が雪まつり期間中展示されます。この世界的に評価の高い「火焔型土器」を、2020年東京オリンピックの聖火台のデザインに採用してもらおうと、関口芳史「十日町市長」自らが、昨年9月、要望書を書いて政府に陳情しました。採用されれば世界中の人々に感動を与え、日本文化への理解が深まるものと期待されています。

松之山温泉では3月3日までのキャンペーン「女正月」の一環として、3月2日に「嫁つけ」を開催します。「嫁つけ」はこしも盛況だった小正月の伝統行事「むこつけ」にあやかるというものです。「むこつけ」は新婚の婿を乗師堂から5メートル下の雪の崖に投げ、祝福するという荒っぽい奇祭として知られています。「嫁つけ」を推進する「ひなの宿とせ」専務の柳一成さんは「投げられるご夫妻と投げ役を一般公募し、盛り上げていきたい」と、伝統行事に負けないイベントを目指します。

食に温泉、祭りまで。冬を楽しむ日本海側の旅へ!

日本海側は冬も魅力が満載。JR東日本「びゅう」では、地元ならではのグルメや数ある温泉を、おトクに楽しむことの出来るプランを多数ご用意しています。ノドグロやアワビ、ズワイ蟹やコシヒカリなどを使った宿自慢の料理を堪能した後は、雄大な

自然に囲まれた温泉でゆっくり過ごしてみたいかがでしょう。詳しくは、JR東日本の主な駅や「びゅうプラザ」にあるパンフレット、またはホームページ(<http://www.eki-net.com/travel/>)をご覧ください。



※本文に記載の料金はすべて税込表示価格です。

「十日町雪まつり」と十日町観光情報のお問い合わせは
TEL:025-757-3100

ホームページ
<http://snowfes.jp/>

詳しくは

十日町雪まつり

検索



高橋匠太「Gift for Frozen Village 2014」photo by Osamu Nakamura

信濃川沿いに光の柱が打ち上がる「越後妻有 雪花火」。地上ではLEDによる光の花畑が出現

東日本旅客鉄道株式会社